

平成21年3月16日

報道提供資料

平成 20 年度市営住宅の耐震診断結果について

問合せ先

まちづくり局市街地開発部

住宅建設担当 044-200-2998

住宅管理課 044-200-2948

1. 市営住宅に関する耐震対策について

平成 18 年 1 月 26 日に施行された「建築物の耐震改修の促進に関する法律」（以下「耐震改修促進法」という。）に基づき告示された「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針」（以下「基本方針」という。）では、「国及び地方公共団体においては各施設の耐震診断を速やかに行ない、耐久性に係るリストを作成、公表するとともに、整備目標及び整備プログラムの策定等を行ない、計画的かつ重点的な耐震化の促進に積極的に取り組むべきである」とされています。

国土交通省では、こうした「耐震改修促進法」及び「基本方針」を受けて、官庁施設の耐震診断結果、耐震性の現況及び今後の耐震化の目標を平成 18 年 8 月に公表しました。

本市においても、平成 19 年 4 月に耐震改修促進法第 5 条第 7 項による「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針」及び「神奈川県耐震改修促進計画」を踏まえて「川崎市耐震改修促進計画」（以下「促進計画」という。）を策定しました。

この「促進計画」では、民間建築物と公共建築物について、耐震化の現状と耐震化の目標を達成するための耐震対策必要棟数等を定め、計画的に対策を進めています。

【市営住宅の耐震診断対象住棟数】

旧耐震設計基準に基づき建設された 301 棟のうち、建替や用途廃止を予定しているものなどを除く 201 棟の市営住宅について耐震診断の対象としています。このうち平成 19 年度に 62 棟の耐震診断を実施し、平成 20 年度に残りの 139 棟の耐震診断を実施しました。

2. 平成 20 年度耐震診断結果

平成 20 年度に 139 棟の耐震診断を実施した結果、ランク A が 27 棟、ランク B が 105 棟、ランク C が 7 棟という耐震診断結果になりました。住棟別の内訳は次表のとおりです。

ランク	住棟名
A (27 棟)	荻宿、久末大谷 1・2 号棟、有馬第二 5・6・8・18・20・21・23 号棟、高山 1～12・15～17・22 号棟、宮崎 1 号棟
B (105 棟)	田島、下平間 3～5 号棟、塚越第 2、南加瀬第一 1・2 号棟、南加瀬第二 1 号棟、宮内 1～7 号棟、上作延第二 1 号棟、千年前田 1～4 号棟、久末 1～12 号棟、有馬第二 1～4・7・9～17・19・22 号棟、高山 21・23 号棟、南平耐火 1～15 号棟、南平第二 1～6 号棟、野川西 1～11 号棟、初山 1～8・10・12・13 号棟、宮崎 2・3 号棟、中野島南 1・2 号棟、高石 1～8 号棟
C (7 棟)	小田 1・2 号棟、上作延第二 2 号棟、初山 9・11 号棟、高石 9・10 号棟

【A B C ランク分類について】

A B C のランク付けについては、想定震度規模を気象庁震度階の 6 強から 7 程度の震動が発生した場合を想定して耐震診断を実施し、その結果得られた各建築物の「I s 値」の数値に基づき分類しています。

ランク	耐震改修促進法による分類
A	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
B	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
C	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

耐震診断の結果ランク A、ランク B と判定された住棟であっても、震度 5 強程度の中規模地震では倒壊又は崩壊しない構造設計に基づいて建設されています。

3. 耐震診断結果に基づく耐震対策

ランク	耐震対策
A	速やかに設計を進め、平成 22 年度までに完了予定
B	順次、耐震対策を実施し平成 27 年度までに完了予定
C	耐震対策は不要

ランク B の耐震改修工事は建物の構造等技術的な検証や耐用年数による影響等も考慮し、総合的な観点から順次、設計を進めます。

4. I s 値について

【I s 値】

I s 値とは「構造耐震指標」といい、昭和 56 年（1981 年）5 月 31 日以前に工事に着手した建築物に適用される耐震改修促進法に基づく耐震性能を表す指標で数値が大きいほど耐震性能が高いことを示します。基準値となる 0.6 未満の住棟が耐震改修対象とされています。

ランク別と I s 値については、ランク A は I s 値 0.3 未満、ランク B は I s 値 0.3 以上 0.6 未満、ランク C は I s 値 0.6 以上としています。

なお、昭和 56 年 6 月 1 日以降に工事に着手した建築物に適用される新耐震基準の必要保有水平耐力に対する保有水平耐力の比（基準値 1.0）とは異なります。

平成20年度 号棟別耐震診断結果

※ 耐震対策が不要な市営住宅

NO	住宅名	棟名	所在地	建設年度	戸数	構造・階数		診断結果		備考
						構造	地上階数	ランク	I s 値	
1	小田	1号棟	川崎区小田5丁目	昭和53年度	36	RC	4	C	0.62~4.78	耐震対策不要
2		2号棟		36	5		0.66~4.13			
3	田島		川崎区田島町	昭和54年度	56	RC	5	B	0.53~3.48	
4	下平間	3号棟	幸区下平間	昭和55年度	60	RC	5	B	0.43~3.82	
5		4号棟		45	5		0.44~3.67			
6		5号棟		40	5		0.45~3.90			
7	塚越第2		幸区塚越2丁目	昭和44年度	168	SRC,RC	7	B	0.36~2.36	
8	南加瀬第1	1号棟	幸区南加瀬2丁目	昭和53年度	40	RC	5	B	0.48~4.46	
9		2号棟		48	4		0.48~4.73			
10	南加瀬第2	1号棟	幸区南加瀬4丁目	昭和55年度	50	RC	5	B	0.53~4.40	
11	苅宿		中原区苅宿	昭和40年度	40	RC	5	A	0.24~3.54	
12	宮内	1号棟	中原区宮内3丁目・4丁目	昭和35年度	32	RC	4	B	0.39~2.87	
13		2号棟		32	4		0.40~2.93			
14		3号棟		32	4		0.47~3.49			
15		4号棟		32	4		0.48~3.36			
16		5号棟		24	4		0.45~4.03			
17		6号棟		24	4		0.47~3.29			
18		7号棟		24	4		0.43~2.89			
19	上作延第2	1号棟	高津区上作延	昭和55年度	50	RC	5	B	0.55~4.97	
20		2号棟		43	5		C	0.61~4.92	耐震対策不要	
21	千年前田	1号棟	高津区千年	昭和42年度	40	RC	5	B	0.35~2.24	
22		2号棟		20	5		0.32~2.98			
23		3号棟		24	4		0.41~2.55			
24		4号棟		20	5		0.30~2.69			
25	久末	1号棟	高津区久末	昭和38年度	40	RC	5	B	0.38~2.99	
26		2号棟			40		5		0.37~2.65	
27		3号棟			30		5		0.36~2.73	
28		4号棟			16		4		0.48~3.29	
29		5号棟			30		5		0.38~2.92	
30		6号棟			16		4		0.44~3.05	
31		7号棟			20		5		0.34~2.97	
32		8号棟			24		4		0.46~3.01	
33		9号棟			24		4		0.47~2.73	
34		10号棟			24		4		0.47~2.77	
35		11号棟			24		4		0.43~2.48	
36		12号棟			24		4		0.43~2.93	
37	久末大谷	1号棟	高津区久末	昭和39年度	32	RC	4	A	0.29~3.64	
38		2号棟		32	4		0.22~3.37			
39	有馬第2	1号棟	宮前区東有馬4丁目	昭和45年度	24	RC	4	B	0.37~2.89	
40		2号棟			24		4		0.37~2.89	
41		3号棟			24		4		0.37~2.89	
42		4号棟		24	4		0.38~3.01			
43		5号棟		20	5		A	0.29~2.71		
44		6号棟		30	5		A	0.28~2.30		
45		7号棟		40	5		B	0.30~2.48		
46		8号棟		20	5		A	0.29~2.71		
47		9号棟		16	4		B	0.39~3.30		
48		10号棟		24	4			0.39~3.09		
49		11号棟		24	4			0.39~3.09		
50		12号棟		16	4		B	0.39~3.30		
51		13号棟		32	4			0.38~2.93		
52		14号棟		24	4			0.39~3.01		
53		15号棟		30	5		B	0.31~2.79		
54		16号棟		30	5			0.31~2.79		
55		17号棟		18	3			0.53~3.47		
56		18号棟		40	5		A	0.28~2.27		
57		19号棟		40	5		B	0.30~2.51		
58		20号棟		20	5		A	0.29~2.61		
59		21号棟		30	5			0.29~2.52		
60		22号棟		40	5			B	0.30~2.51	
61		23号棟		20	5		A	0.29~2.61		

62		1号棟			40		5		0.28~2.29	
63		2号棟		昭和44年度	30		5		0.28~2.39	
64		3号棟			30		5		0.28~2.39	
65		4号棟			30		5		0.28~2.39	
66		5号棟		昭和43年度	40		5		0.29~2.29	
67		6号棟			30		5		0.28~2.39	
68		7号棟		昭和44年度	20		5		0.29~2.64	
69		8号棟			40		5	A	0.29~2.29	
70	高山	9号棟	宮前区平2丁目		20	RC	5		0.29~2.64	
71		10号棟		昭和43年度	30		5		0.28~2.39	
72		11号棟			40		5		0.29~2.29	
73		12号棟			30		5		0.28~2.39	
74		15号棟			40		5		0.29~2.29	
75		16号棟		昭和44年度	40		5		0.28~2.29	
76		17号棟			20		5		0.29~2.64	
77		21号棟		昭和43年度	40		5	B	0.30~2.44	
78		22号棟			40		5	A	0.29~2.33	
79		23号棟		昭和44年度	30		5	B	0.31~2.60	
80		1号棟		昭和37年度	24		4		0.44~3.43	
81		2号棟			30		5		0.37~3.91	
82		3号棟		昭和38年度	30		5		0.46~3.92	
83		4号棟			16		4		0.49~3.61	
84		5号棟		昭和37年度	16		4		0.48~3.69	
85		6号棟			24		4		0.52~3.39	
86		7号棟			32		4		0.44~3.31	
87	南平耐火	8号棟	宮前区南平台	昭和36年度	24	RC	4	B	0.44~3.60	
88		9号棟			24		4		0.44~3.19	
89		10号棟		昭和37年度	30		5		0.41~3.30	
90		11号棟			30		5		0.46~3.10	
91		12号棟		昭和38年度	40		5		0.40~3.02	
92		13号棟			40		5		0.40~3.08	
93		14号棟		昭和36年度	24		4		0.42~3.45	
94		15号棟			24		4		0.44~3.49	
95		1号棟			20		5		0.34~2.54	
96		2号棟			30		5		0.36~2.43	
97	南平第2	3号棟	宮前区南平台	昭和42年度	40	RC	5	B	0.35~2.24	
98		4号棟			30		5		0.33~2.35	
99		5号棟			30		5		0.33~2.24	
100		6号棟			30		5		0.33~2.35	
101		1号棟		昭和47年度	50		5		0.37~2.71	
102		2号棟			40		5		0.34~2.62	
103		3号棟			40		5		0.34~2.62	
104		4号棟			30		5		0.34~2.73	
105		5号棟		昭和46年度	30		5		0.38~2.90	
106	野川西	6号棟	宮前区野川		40	RC	5	B	0.37~2.70	
107		7号棟		昭和47年度	18		3		0.59~3.23	
108		8号棟		昭和46年度	30		5		0.38~2.89	
109		9号棟			50		5		0.35~2.55	
110		10号棟		昭和47年度	40		4		0.45~2.83	
111		11号棟			24		3		0.57~3.13	
112		1号棟			16		4		0.47~3.42	
113		2号棟			24		4		0.49~3.22	
114		3号棟			32		4		0.50~2.83	
115		4号棟			16		4	B	0.50~3.75	
116		5号棟			24		4		0.47~2.70	
117		6号棟			32		4		0.50~3.38	
118	初山	7号棟	宮前区初山2丁目	昭和39年度	30	RC	5		0.45~3.75	
119		8号棟			20		5		0.45~3.99	
120		9号棟			12		3	C	0.67~4.21	耐震対策不要
121		10号棟			20		5	B	0.39~3.40	
122		11号棟			12		3	C	0.67~3.47	耐震対策不要
123		12号棟			32		4	B	0.50~3.38	
124		13号棟			32		4		0.50~3.38	
125		1号棟			25		5	A	0.29~2.57	
126	宮崎	2号棟	宮前区宮崎	昭和41年度	20	RC	4	B	0.34~2.82	
127		3号棟			15		3		0.47~3.15	

128	中野島南	1号棟	多摩区中野島1丁目	昭和53年度	16	RC	4	B	0.57~5.22	
129		2号棟		昭和39年度	28		5		0.51~3.97	
130	高石	1号棟	麻生区高石4丁目	昭和40年度	昭和39年度	RC	5	B	0.44~3.66	
131		2号棟			20		5		0.38~3.48	
132		3号棟			30		5		0.44~3.66	
133		4号棟			40		5		0.42~2.55	
134		5号棟			24		4		0.51~3.39	
135		6号棟			24		4		0.45~2.94	
136		7号棟			24		4		0.51~3.14	
137		8号棟		昭和39年度	16		4	0.47~3.50		
138		9号棟		昭和40年度	18		3	0.66~3.38	耐震対策不要	
139		10号棟			12		3	0.66~3.35	耐震対策不要	

【I s 値の表記について】

耐震診断は、一つの建物について各階ごとに縦方向、横方向の方向別に診断を行うので建築物の箇所ごとにI s 値が得られるため、表記については「最も小さい数値～最も大きい数値」で表しています。

耐震診断実施年度

年度	19					20				
	区	住宅名	建設年度	棟数	戸数	区	住宅名	建設年度	棟数	戸数
診断	川崎	観音	50	1	114	川崎	小田	53	2	72
	川崎	京町耐火A	51	2	84	川崎	田島	54	1	56
	川崎	京町耐火B	52	1	52	幸	下平間	55	3	145
	川崎	京町耐火C	42	2	42	幸	塚越第2	43	1	168
	幸	河原町	45.46.47	4	1,598	幸	南加瀬第1	53	2	88
	中原	木月耐火	53	2	114	幸	南加瀬第2	55	1	50
	高津	明石穂	40	12	318	中原	苅宿	40	1	40
	高津	上作延	41	8	222	中原	宮内	35.36.37	7	200
	高津	新作	41	8	242	高津	上作延第2	55	2	93
	高津	日向	50	1	124	高津	千年前田	39.42.44	4	104
	宮前	有馬第1	42.43	19	530	高津	久末	38	12	312
	宮前	菅生	52	2	163	高津	久末大谷	39	2	64
						宮前	有馬第2	42.44.45	23	610
						宮前	高山	43.44	18	590
						宮前	南平耐火	36.37.38	15	408
						宮前	南平第2	42	6	180
						宮前	野川西	46.47	11	392
						宮前	初山	39	13	302
						宮前	宮崎	41	3	60
						多摩	中野島南	53	2	44
					麻生	高石	39.40	10	238	
計		12		62	3,603		21		139	4,216